

# 卒業生からのメッセージ 未来に輝く先輩たち

東京大学理学部数学科 伊藤 優輝さん [2014年度卒業]

現在、東京大学理学部数学科で、現代数学の主要分野である代数学・幾何学・解析学の基礎を学んでいます。数学には、なるべく論理の飛躍がないようにきっちりと論理を積み重ねて証明していく特徴があり、細かい議論を積み重ねた定理の証明を理解できた時は、感動して面白くそして美しいと思います。その魅力にひかれて数学を勉強しています。例えば、代数学の授業で現在学んでいる環論の視点からも $(-1)(-1)=1$ を示すことができ、中学校で習ったことをより抽象的な枠組みで理解できて、数学は奥深く面白いと思います。

現在数学以外に、量子コンピュータにも関心があります。現在のコンピュータより高速に素因数分解ができる量子コンピュータを使ったShorのアルゴリズムというものが知られていて、そのような量子コンピュータを使ったアルゴリズムに興味を持っています。このように、数学をはじめ様々な分野に興味をもって学べるのは、中学校時代に習熟度別授業や特別進学学習で各教科の基礎基本を身に付けられたからだと思います。また、東中の特色の一つであるプランノートを用いて計画的に学習する習慣を身に付けられたことも、大きな要因です。上述した学び姿勢を身に付けられたことで、

筑波大学附属駒場高校や東京大学に合格できたと思っています。ほかに、混合教育や生命科、サッカー部での活動など東中の学校生活を通じて身に付けた他者を尊重し協力する姿勢が、大学のアクティブラーニングを行う講義で活きていると感じます。

将来は、未だ実用化には程遠い量子コンピュータを数学的な観点から支えるような数学と量子コンピュータの両方に関わる研究に挑戦し、創造的な仕事をして、世の中に貢献したいと考えています。



## 2021年度 卒業生



お茶の水女子大附属高校 川西 悠希さん

武蔵野東中学校での3年間はどの場面を切り取っても、とても充実していて楽しいものばかりでした。その中でも特進は私に多くの刺激を与えてくれました。特進では問題の答え合わせの時にメンバー同士で解説しあったり、考えが異なったときには話し合ったり、社会問題や哲学の問題について意見を交わしたりといったことを通して多様な視点や考え方、他者に分かりやすく説明する力など受験だけでなく将来にも生かせる力を多く得ることができました。共に受験という目標に向けて切磋琢磨し合う特進での時間はとても充実したものでした。他にも混合教育や生命科など独自のカリキュラムから、多様性や命の大切さなどを学んだことはとても貴重な経験となりました。東中での3年間を通して得たものは、かけがえのないものです。



都立西高校 川島 結菜さん

東中では、多くの学びから新たな自分に出会うことができます。そのひとつが探究科です。自らの問いに向き合い考察を深めていく探究科は、新たな価値観に気づき、自分の生き方を考えるきっかけとなりました。多くの文献や資料を読み、先行研究を踏まえ、独自の視点で分析を進めていく時間はとても楽しく充実していました。方向性が見えなくなり行き詰まった時、先生方より客観的なアドバイスをもらうことで、自分なりの答えを導き出すことができました。また、私はダンス部に所属していました。大会での優勝に向けて仲間と切磋琢磨しながらダンスに励む日々は、私の学校生活の中心でした。スポーツでは精神力も重要であり、僅かな気持ちの差が勝敗を分けます。東中ダンス部で培った精神力は、私の財産です。皆さんも、東中で新たな自分を見つけてください。



早稲田大学高等学院 穀野 瑠樹さん

私はいろいろな改革を实行しようと考えて、友愛会(生徒会)会長を務めました。コロナ禍という事もあり中々上手くいかず悩んだ時期もありましたが、先生方と優しい友達に支えられてやり遂げることができました。東中の3年間というのは他の学校では経験できない、かけがえのない日々でした。その中でも特に3年次から始まる「特別進学学習」通称「特進」は私を支える大きな柱でした。皆が受験という壁に不安を覚えますが、同じ目標に向かう少人数クラスで受験を熟知した先生がそんな不安を払拭してくれます。特進の授業の特色は通常の受身の授業ではなく、生徒が教師役となりお互いに教え合う事で理解を深め、自然と学力を伸ばすという特徴がありました。特進のおかげで仲間意識が芽生え、楽しく目標に向かい、そして乗り越えることができました。



東中のダンス部での経験が、  
今の私を作り上げてくれた

早稲田大学国際教養学部 佐野 媛菜さん [2017年度卒業]

バックグラウンドを持つ学生たちとともに、興味ある分野を学んでいます。

振り返ってみると、東中で得たことはたくさんあります。混合教育は、大学の授業でダイバーシティを考える上での基礎となっています。授業内外でたくさんのレポートを書いたことも、論文執筆に非常に役立っています。そして何より、東中のダンス部での経験が、今の私を作り上げてくれたと思っています。ダンス部で素晴らしい指導者に恵まれ、仲間たちと共がむしゃらに練習し、たくさんの汗と涙を流した3年間。それは、自分で考えて行動することの大切さ、仲間と協力することの尊さを私に教えてくれました。そして、最後のコンクールで果たした全国優勝は、いつも私に自信を与えてくれ、前を向かせてくれる源となっています。ダンスは今も続けており、大学では演劇・舞台芸術を副専攻として履修始めました。将来は舞台芸術に関する通訳・翻訳を仕事にしたいと思っており、高校在学中に翻訳業で起業し、現在も学業の傍ら、英語教材の作成や翻訳の仕事をしています。

東中のダンス部との出会いが、私を大きく強くしてくれたように、これからの4年間の大学生活でどのような出会いがあるか、とても楽しみです。

9歳までアメリカで育った私は、中学卒業後は都立国際高校へと進みました。外国人や帰国生が多く、TOEIC満点者や海外大進学者も珍しくない同級生に囲まれ、大いに刺激を受けました。そして高校卒業後は、英語で幅広く教養を身に付けられ、多様な学びが実現できる、早稲田大学国際教養学部に進学しました。現在、様々な



都立国立高校 石黒 友理さん

私は武蔵野東中学校で過ごした3年間を通し、様々な経験を得ました。特にCDE(自閉症児)クラスの友達との関わりを通して、一人の人間としても成長することが出来たと感じています。初めの頃は、意思疎通が上手く図れなかつたりと苦労する場面もありましたが、関わりを深めていくにつれ自分の名前を呼んでくれたり、自分のことを信頼してくれていると感じたりと嬉しく思うこともたくさんあります。私たちが何かを教えるだけでなく、物事に対する姿勢など彼らから学ぶべきことも多くあり、とても貴重な経験になりました。また、武蔵野東中学校は受験においても特別進学学習やプランノートなど、為になるシステムがたくさんあります。中でも特別進学学習は習熟度別にクラス分けされているため自分に合った効率の良い学習ができ、同じクラスのメンバーと切磋琢磨することで学習のモチベーションを上げることが出来ました。武蔵野東中学校で過ごした日々が、これからの高校生活、更にはその先でもかけがえのない思い出として、また日頃の糧として私を支えてくれることと思います。



慶応大学附属女子高校 杉山 瑛梨さん

私は陸上部に加入し、3年間活動をしました。毎日の練習や大会が多いときには、体力的に大変だったり、3年生になってからは勉強との両立に苦労したりしましたが、それを乗り越え、私は体力的にも精神的にも成長できたことを実感しています。また、顧問の先生が引退の時期について時間をとって相談のってくださったので、私は納得がいくまで部活を続けることができたと思います。そして、武蔵野東中学校には部活だけでなく、探究科などいろいろな面で自分の好きなことや興味のあることを追求できる環境があります。先生方は、テストの質問はもちろんのこと、他の興味深いお話を楽しくしてくださり、自分の興味を広げてくださりました。みなさんも武蔵野東中学校で部活や勉強、好きなことを突き詰めて、充実した日々を送ってください。



都立国際高校 大河原 拓馬さん

東中は、自分のやりたい事を全力でやり切れる環境が整っています。そして色々な友人から刺激を受け、自分の新たな一面を見つけることもできます。私は、生徒が運営するSDGsプロジェクトのリーダーとして主体的に活動していく中で、リーダーシップを身につけました。また活動を通して外国語や世界の文化・事象などについても関心を持つようになったことにより、今の高校を選択したきっかけにもなりました。先生方は日々のプランノートや自主学習ノートなどから私たちの学習、生活両面において適切なサポートをくださいました。そのおかげで、中3の11月まで所属していたダンス部では、全国大会を含む3年時の大会全てで優勝、高校受験においても納得のいく結果を得ることが出来ました。私は単に勉強だけでなく全ての事に全力で取り組むことができ、鼓舞しあえる友人、信頼できる先生方がいる東中が大好きであり、東中で過ごした日々は私の宝物です。